

函館の教育が目指す人間像（案）

本市においては、少子・超高齢社会の進行や若年層を中心とした都市部への転出などを要因とした人口減少が進行しており、今後も人口が減少し続けることによって、地域経済の縮小による雇用機会の減少や担い手不足による地域コミュニティ機能の低下などが懸念されています。

また、家族形態の変化、雇用環境の変化、価値観・ライフスタイルの多様化によって、地域社会のつながりや支え合いの希薄化、家庭が抱える課題の多様化・複雑化などが生じてきており、それらが子どもたちの育ちや学びに与える影響が懸念されています。

さらに、情報通信技術の進展に加え、人工知能やビッグデータ等の技術革新の進展によって、知識・情報・文化・価値観の変化が加速することにより、社会や生活が大きく変化することが予想されています。

このような状況から、これからの函館の教育においては、自立した人間として、多様な人々と共生し、新たな価値を創造する人を育むことが大切であると考え、函館の教育が目指す人間像を次のとおり掲げることとします。

（自立）生涯を通じて学び続け、主体的に判断して変化する社会を生きる人

主体的・対話的で深い学びのスタイルを身につけ、生涯を通じて学び続けて個性・能力を伸ばすとともに、変化する社会にあっても自分ができることを主体的に判断して行動することができる人を育む。

（共生）寛容さと思いやりの心をもって、多様な人々と絆を結び共に支え合う人

個人や社会の多様性を尊重し、他者に対する思いやりと感謝の気持ちをもちながら、主体性をもって多様な人々と共に働き、支え合うことができる人を育む。

（創造）世界に目を向け、新たな価値を創り、まちの魅力を高める人

世界に目を向けるような広い視野をもって、自他の人生を豊かにする新たな価値を創り出し、函館への愛着や誇りを強く抱きながら、まちの魅力をさらに高めることができる人を育む。